

総合戦略KPI一覧

基本目標	数値目標	基準年	基準値	R1実績値	R7目標値	施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準年	基準値	R1実績/累計値	R7目標値
1 大鰐町における安定した雇用を支える”おしごと”の創出	認定農業者数 (農林課調べ)	H30	126人	125人	現状維持	①地域の産業を活かしたしごとづくり	新規就農者数(累計) (農林課調べ)	H30	29人	1人/30人	34人
							事業所数 (経済センサス基礎調査)	H30	347社	R2.12月に公表	現状維持
	民営事業所従業者数 (経済センサス活動調査)	H28	2,171人	公表なし	現状維持	②働く場づくり	誘致企業数(累計) (企画観光課調べ)	H30	7社	2社/9社	10社
							起業支援を受けて起業した 件数(累計) (企画観光課調べ)	H30	1件	1件/2件	5件
2 結婚・出産・子育てなど”お若い世代の希望”を実現	合計特殊出生率 (人口動態統計)	H30	0.93	公表なし	現状より増加	①出会い・結びを育む	婚活イベントへの圏域参加者数 (企画観光課調べ)	H30	103人	89人	150人
						②産み・”おおわにっ子”を育てる	出生数 (人口動態統計)	H30	30人	33人	現状より増加

基本目標	数値目標	基準年	基準値	R1実績値	R7目標値	施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準年	基準値	R1実績/累計値	R7目標値
3 大鰐町の魅力を高め” わがふるさと”の創出	町平均寿命の全国との 格差 (人口動態統計)	H27	男 2.5歳 (町78.3歳、 国80.8歳) 女 1.3歳 (町85.7歳、 国87.0歳)	公表なし	男女ともに縮小	①安全・安心なふるさとづくり	特定健診受診率 (保健福祉課調べ)	H30	46.0%	48.7%	60%
							各種がん検診受診率 (保健福祉課調べ)	H30	胃がん:23.1% 大腸がん: 23.4% 肺がん:20.3% 子宮頸がん: 31.0% 乳がん:30.9%	胃がん:23.1% 大腸がん:23.2% 肺がん:19.7% 子宮頸がん: 34.7% 乳がん:33.8%	胃がん:40% 大腸がん:40% 肺がん:40% 子宮頸がん: 50% 乳がん:50%
							デマンドバス新規会員数 (企画観光課調べ)	H30	23人	33人	25人
							流融雪溝の整備延長(累計) (建設課調べ)	H30	10,077.7m	287.4m /10,365.1m	12,900m
						②ふるさと魅力アップ	ふるさと納税者数 (企画観光課調べ)	H30	913人	991人	2,000人
							町イベントに参画した子どもの数 (企画観光課調べ)	H30	200人	238人	300人
							4 新しいひとの流れによ る”にぎわい”の創出	純移動数(転入－転出) (住民基本台帳)	H30	転出超過81人	転出超過92人
空き家・空き地バンク登録件数 (累計) (建設課調べ)	H30	0件	1件/1件	10件							
宿泊客数 (企画観光課調べ)	H30	69,418人	71,285人	76,000人	②にぎわいづくり	住民参加型まちづくり事業 申請件数 (企画観光課調べ)		H30	0件	—	10件
						外国人宿泊客数 (企画観光課調べ)		H30	7,038人	7,379人	10,000人

令和元年度実施事業

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績		
1 大鰯町における安定した雇用を支える”おしごと”の創出	地域の産業を活かしたしごとづくり	6次産業化支援	6次産業化支援対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い関係者が参画した推進協議会を設置し、6次産業化戦略・構想に沿って、町内で栽培されている農産物による特産品や健康食品の開発など、地域ぐるみで6次産業化の取組を行う。 ・農商工業者の6次産業化の知識を深め、加工・流通に係る機運の醸成を図るため「6次産業化推進セミナー」を開催。 ・「まるごと大鰯秋の感謝祭」において6次産業化ブースを設置し、様々な6次産業化商品を知る、見る、味わうきっかけづくりの場を提供する。 	420	大鰯町6次産業化・地産地消推進戦略に基づき、「大鰯町6次産業化エボリューション5」と題して、「人材の育成」、「地域資源の発掘」、「地産地消の推進」、「農商工連携」、「地域の6次産業化ネットワークの構築」を推進することにより、オール大鰯での発展・進展した6次産業化を図る。 ○6次産業化・地産地消推進協議会の開催 当町の6次産業化の推進を図り、地域の実情を反映させた推進戦略の策定及び、大鰯町ブランド化認定要領の策定のための協議を実施した。 ○6次産業化実践セミナーの開催 新型コロナウイルス感染症を予防する目的から中止とした。 ○6次産業化ブースの設置 中南管内の3市町村(平川市、藤崎町、田舎館村)から4つの事業者に出展していただき、町民及び農商工業者等多数の来場があり、6次産業化の周知が図られた。		
				農業就業者への支援	農業人材力強化総合支援事業	青年就農者の意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な経営開始直後の所得を確保するため給付する。 年間150万円(夫婦の場合は225万円)を最長5年間給付する。(ただし、前年の所得が250万円(交付金除く)以上となった場合は給付を停止する)	24,723	交付人数 19人(内夫婦1組) H27 4人、H28 6人、H29 5人(内夫婦1組)、H30 2人、R1 1人
					機構集積協力金交付事業	農地中間管理事業に係る農地の貸し付けを行った農地の所有者に対し、一定条件を満たす農地の貸付に関し、協力金を交付することにより、事業の促進及び活性化を図るもの。 経営転換協力金 15,000円/10a	242	令和元年度 対象者 4名 対象面積 161a
				農業生産活動の支援	多面的機能支払交付金事業	地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源(水路・農道等)の質的向上を図るため、中山間直接支払の非対象農用地に対する水路・農道等の維持管理(地域活動)に支援する。	4,403	令和元年度交付実績(5組織) H27～R1 対象面積:田 46.92ha、畑 62.57ha 計 109.49ha
					中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域における多面的機能の維持・増進を図るため、自立的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取り組みを実施するために交付金を交付する。	31,574	令和元年度交付実績(16集落協定) ・交付対象面積等 対象戸数:677戸、 対象面積:田 2,014,148㎡、畑 3,259,418㎡、計 5,273,566㎡
				農業経営負担の軽減	果樹共済加入率向上推進事業	果樹共済の加入率の向上を図り、自然災害に強い経営を図るため共済掛金の10%～30%を助成する。	557	令和元年度 対象者 97名 総合 20% 対象面積 121.6ha(約283ha) ※結果樹面積945ha 特定3・2点 10% 加入実績 12.8%
					園芸施設共済推進事業	園芸施設共済の加入率向上対策として1/4を助成。	503	令和元年度 対象者 73戸 加入棟数 417棟
				農業経営体の育成	農業生産施設整備促進事業	トマト、メロン、大鰯温泉もやしなどの生産組合の簡易ハウス等購入費並びに付属機械類等の購入に対し、上限1/2を助成。	8,486	・簡易園芸施設の助成:トマトハウス等7棟 6人 ・園芸作物用機械等の助成:選果機5台・防除機1台、管理機3台 その他資材のべ7件
					防風網張替整備推進事業	防風網の張替資材に要する経費のうち上限2,000円/mを助成。	331	令和元年度 対象者 4名 補助事業延長 165.3m

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
		産業活性化による雇用拡大	事業承継推進事業	農業や観光等の分野にも担い手育成の取組を進め、地域産業の振興、地域特産品の伝承、事業承継、雇用や事業の創出を図る。	33,937	<ul style="list-style-type: none"> 大鰐温泉もやし増産・安定供給及び販路拡大事業 関西方面等への販路強化、新規取引店の発掘を図る。 令和元年度 大鰐温泉もやし生産量 93,020束(27.9トン)対前年比129% 「大鰐温泉もやし」取材対応件数 20件、新規取引店 22軒 大鰐町シティブロモーションによる産業振興事業 廃業危機となっている菓子店や宿泊施設の担い手発掘・育成により、事業承継を目指す。町内事業者を訪問し、現在の状況や課題、将来についてヒアリングを行った。 大鰐町を持続可能にする地域経営人材育成事業 町に関心のある担い手候補者に対して「大鰐なりわい塾」を全6回開催。85名受講。
			地域クリエイターと連携した新たな担い手育成及びコンテンツ等開発事業	弘前市、田舎館村、嬉野市(佐賀県)と連携し、様々なクリエイター達と新たなコンテンツの開発等を実施。	2,449	H29年に開発した「おおわにらんとん」のイベントを実施し、コンテンツの定着を図る。H30年に開発した、大鰐産のトマトを使用したスイーツを連携イベントで販売。 1/26 らんとんワークショップ 参加者数 40名 2/1,2,8,9(4日間) らんとん列車乗客数 947名 2/1,2,8,9(4日間) トマトスイーツ売上 50個(@300円×50個)
	働く場づくり	起業・創業支援	未来を変える挑戦資金事業	青森県未来を変える挑戦資金の融資を受けた方に対して、県による信用保証料の30%補給後の信用保証料を全額補給。 【対象者】 次のいずれにも該当する方 ・青森県未来を変える挑戦資金「創業する事業」により融資額1,000万円以内で融資を受けた方。 ・町内に住所および主な事業所を双方有する者。 【支援内容】 ・県による信用保証料の30%補給後の信用保証料を全額補助。	116	元年度 実績1件
		企業誘致	企業誘致推進事業	青森県企業誘致推進協議会負担金	70	青森県企業誘致推進協議会は、県内の企業立地促進のため、企業誘致戦略研修や広報宣伝活動等を行っている。

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
2 結婚・出産・子育てなど”お若い世代の希望”を実現	産み・”おおわにっ子”を育てる	出会いの場創出・結婚祝福推進	婚活支援事業	弘前圏域定住自立圏8市町村が連携し、結婚を希望する独身の方に対し、より多くの出会いの場を提供するため、イベントを開催。	227	黒石市において「城下町で現代郷土料理と日本酒カクテルの宴」を実施。圏域から男性9名、女性8名の計18名が参加。 その他、「神さんのプチ畑でビザ作りコン(藤崎町)」、「恋するウインターパーティーin弘前～未来のお相手とお話しませんか?～」などの婚活イベントを実施。ひろさき広域出愛サポートセンター(弘前市ヒロロ)において、会員登録者数を増やすために、休日登録会を実施。 成婚件数3件(H26年度からの累計17件)
			妊婦健康診査事業	妊婦委託健康診査を医療機関に委託し実施することにより、妊婦の健康管理の向上を図る。(妊婦委託健康診査受診14回分助成、多胎妊婦については最大7回まで追加)	3,452	実施者数:実49人、延386人(1～14回) 超音波検査 114人(延)、子宮頸がん検査 28人、HTLV-1抗体検査 28人 性器クラミジア検査 28人、妊婦歯科健診 10人
		安心して出産できるまちづくり	不妊治療費給付事業	○特定不妊治療費助成事業 青森県特定不妊治療費助成事業を活用して治療する夫婦に対して、その治療に係る費用の一部を助成。 【対象者】 ①青森県特定不妊治療費助成事業費補助金の交付決定を受けている。 ②特定不妊治療開始から申請日まで夫婦のいずれかの者が大鰐町に継続して住所を有し、居住の実態がある。 ③町税に滞納がない。 ○一般不妊治療費助成事業 不妊治療を受けている夫婦に対し、一般不妊治療に要する費用の一部を助成する。 【対象者】 ①不妊治療によらなければ妊娠の見込みがない、または極めて少ないと医師に診断されている。 ②夫婦のいずれか一方が1年以上前から大鰐町に住所があり、実際に居住している。 ③町税に滞納がない。 ④治療期間の初日における妻の年齢が35歳以下	120	助成件数 特定不妊治療:0件、一般不妊治療:4件
			風しんワクチン接種支援事業	妊婦等に対する風しんの感染予防を図り、先天性風しん症候群の発生を未然に防ぐことを目的に、風疹抗体検査を必須要件とし、風しん予防接種費用の助成。 【対象者】 大鰐町に住所がある方で、下記に該当する方。ただし、妊娠中の女性、過去に風しん抗体検査を受けたことがある方や風しんに罹ったことがある方を除く。 1.妊娠を予定または希望する女性とその夫、2.妊婦の夫、3.40～57歳男性 【支援内容】 風しん抗体検査、風しん予防接種ともに無料	2,132	予防接種:15人 抗体価検査:66人
			ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	ハイリスク妊産婦の周産期母子医療センターの通院等に係る交通費等に対して上限50,000円を助成する。	55	助成件数 2件
			定住促進・子育て住宅支援事業	子育て世帯の住宅の新築及び住宅(空き家を含む)のリフォームをされる方に対して、その経費の一部を助成。 【対象者】 ・町内に居住又は町外から転入し居住することが明らかなる方 ・町税に滞納がない方 ・リフォーム工事の場合、同一箇所に町の他制度の補助を重複して受けていない方 ・平成24、25年度で実施した「大鰐町安心・安全リフォーム補助事業」及び平成27年度で実施した「大鰐町定住促進・子育て住宅支援事業」で補助を受けていない方 【支援内容】 ・新築の補助金:工事費の3%で上限額500千円(工事費10,000千円以上のもの) ・リフォームの補助金:工事費の30%で上限額300千円(工事費300千円以上のもの) ・空き家等を活用する場合は、リフォームに上限額200千円を上乗せ。	4,495	新築 7件 リフォーム 3件 計 10件

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			大鰯の元気！もりもり子育て応援事業	出産・子育て世代の大鰯町に対する郷土愛の醸成と、大鰯産品の地域内利用を促進し、町ぐるみ「オール大鰯」での産業の活性化を促し、子育て支援の充実を図る。	923	令和元年度 対象者数:32人、支出額 922,258円
			子ども医療費給付事業	0歳から中学3年生までの医療費について全額助成。	18,682	乳幼児医療費 対象者数:251人、給付件数:4,418件 支払額 9,155,537円(通院7,518,377円、入院1,637,160円) 子ども医療費 対象者数:364人、給付件数:2,260件 支払額 9,526,068円(通院8,991,587円、入院534,481円)
			ひとり親家庭等医療費給付事業	18歳未満の児童を扶養するひとり親家庭等の父又は母及びその児童と、父母のいない児童の医療費を助成。 【対象者】 ・町内に住所を有するひとり親家庭等の18歳に達する日以降における最初の3月31日までの児童を養育する父又は母とその児童(所得制限あり) 【支援内容】 児童は全額助成、父又は母は医療機関ごとに1月に1,000円を控除した額を助成	5,182	母子家庭延人数 1,964人 4,554,353円 父子家庭延人数 254人 627,985円 合計 2,218人 5,182,338円
		子育て支援	保育料軽減対策事業	保育所等の利用者負担額を軽減するため、国の徴収基準より料金を軽減。 【対象者】 大鰯町から支給認定を受けた児童の保護者 【支援内容】 国基準より引き下げた利用者負担額を設定し、所得階層についても細分化している。	12,719	保育料軽減対策分:12,719千円 令和元年3月末時点の園児数:225名
			予防接種推進事業	予防接種法に基づき、各種予防接種を公費で負担。	8,083	不活化ポリオ 0人、麻しん風しん 71人、四種混合 147人、日本脳炎 224人、BCG 31人、水痘 81人、ヒブ 140人、二種混合 52人、小児肺炎球菌 139人、B型肝炎 94人、子宮頸がん 2人
			遺児入学祝金等給付事業	義務教育修了前の遺児等に弔慰金及び入学・卒業祝金を給付。 【対象者】 町内に住所を有する父、母又は父母を亡くした等の義務教育終了までの児童 【支援内容】 弔慰金:10,000円、入学祝金(小学校・中学校):7,000円、卒業祝金(中学校):10,000円	34	入学祝金:2名 14,000円 卒業祝金:1名 10,000円 弔慰金:1名 10,000円
			就学援助費	・就学援助費・特別支援就学奨励費 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の保護者等に対して教育を受ける上で必要な学用品費等や学校給食費を扶助する。 ・遠距離通学費 遠距離地域から通学する児童生徒の保護者に対して、通学費の全額又は一部を扶助する。	9,299	【小学校】 学用品費等:1,016,434円、給食費:1,532,400円、遠距離通学:2,681,940円 計:5,230,774円 【中学校】 学用品費等:2,006,533円、給食費:1,445,434円、遠距離通学:615,830円 計:4,067,797円
			インフルエンザ予防接種支援事業	6か月から6歳(小学校就学前)のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成。 【対象者】 町内に住所を有する6か月から6歳(小学校就学前)の方 【支援内容】 6か月から6歳(小学校就学前):接種費用1回につき2,500円を2回助成。	960	2回接種183人、1回のみ接種19人

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			保育事業	延長保育事業、一時預かり事業、障がい児保育事業	5,096	延長保育事業:3,310千円(3か所) 一時預かり事業:1,186千円(2か所) 障がい児保育事業:600千円(1か所)

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			放課後保育事業	中央児童館管理委託料、放課後児童健全育成事業、母親クラブ活動費補助金、放課後子ども教室推進事業費	14,716	中央児童館管理委託料:10,699千円(大鰐町社会福祉協議会へ指定管理) 放課後児童健全育成事業委託料:2,750千円 放課後児童クラブ:21人/日、その他:11人/日 母親クラブ活動費補助金:111千円 放課後子ども教室推進事業:1,156千円(中央公民館:23人/日)
		未来の人財づくり	特別支援教育支援事業	小・中学校の普通学級に在籍する、学習障害や多動傾向等により、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置。	5,475	令和元年度は、小学校へ2人、中学校へ1人を配置し、学習支援や問題行動がある児童生徒への対応を行った。特別支援教育支援員を配置したことにより、支援が必要な児童生徒に手厚い対応が行うことができた。
	生きる力育成事業		学校長が大鰐町総合振興計画に基づいた独自性のある学校経営を行い、特色ある学校づくりができるよう補助金の交付を行う。 【対象となる事業】 学力向上につながる事業、体験学習(文化活動)推進事業、ものづくり(芸術・研究テーマ)支援事業、その他教育長が認める事業	1,321	小学校では、鰯っこ暗唱詩集を作成し、文芸作品を暗唱させることで、文学的興味や関心を高めるとともに、豊かな心を育んでいる。また、OH!!鰯元気隊キッズの活動支援やスキー教室など、ふるさとへの愛着を育む活動を行っている。中学校では、学力の向上を図る取り組みとして、問題集の購入や、実力テストを実施して学力の分析を行っている。	
	児童通学安全対策事業		平成27年度から、1つの小学校に統合され、一部児童は通行量の多い不慣れた道路を通学しなければならない。また、スクールバスも運行するが、道路状況が悪く、学校から離れた場所に停車せざるを得ないことから登下校の安全確保が懸念されている。そのため、小学校までの通学路の危険箇所に通学指導員を配置する。	1,915	通学指導員:7名 指導員配置箇所における交通事故発生件数:0件 通学指導員謝礼:1,842,000円 通学指導業務委託料:72,800円	

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額(千円)	事業実績
3 大鰐町の魅力を高め”わがふるさと”の創出	安	地域共生社会の推進	コミュニティ推進事業	主に各区会に対し、地区の集会センター等の施設備品等の整備に係る経費を自治総合センターの宝くじコミュニティ助成を活用し、助成している。上限2,500千円。	2,000	三ツ目内区会、長峰区会の2団体へ助成し、各集会施設における備品を整備した。(エアコン、暖房機、電子レンジ、冷蔵庫など)
			健康イベント事業	平均寿命を1歳延ばそうプロジェクトを推進し、健康イベントを実施する。	450	健康フェスタin児童館まつり 368人 成人式 42人 健康フェスタin鯛come 136人
		平均寿命を1歳延ばそうプロジェクト	健診・がん検診事業の拡充	生活習慣病の予防と早期発見・早期対応・早期治療のため、特定健康診査、各種がん検診、骨密度検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胃がんリスク検診を実施する。 各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨密度検診の自己負担金を無料としている。また、生活習慣病の早期発見のため、30歳～39歳に基本健康診査を実施している。	18,710	各種健(検)診受診者数 被生活保護世帯特定健康診査 12人、基本健康診査(30歳～39歳) 37人、胃がん検診 1,099人、大腸がん検診 1,547人、肺がん検診 1,530人、子宮頸がん検診 568人、乳がん検診 496人、骨密度検診 91人、歯周疾患検診 17人、肝炎検査 B型 158人、C型 155人、胃がんリスク検診 12人 後期高齢者人間ドック 23人
			健康の日の推進等	地区や団体の会合に出向き、健康測定をする出張健康鑑定団を実施する。	169	出張健康鑑定団 10回、延べ355人
			高齢者予防接種推進事業	予防接種法に基づき予防接種を実施。 【対象者】 町内に住所を有する65歳以上の方 【支援内容】 インフルエンザ予防接種:接種費用1回につき2,500円を1回助成。 高齢者肺炎球菌予防接種:接種費用7,116円を上限に助成。	6,388	インフルエンザ予防接種:5,393千円、2,158人 高齢者肺炎球菌予防接種:995千円、145人
		雪対策	流融雪溝整備	流融雪溝の整備	39,996	居土地区の融雪溝整備工事:L= 287.4m
			自殺予防対策事業	「こころの体温計」「こころの相談会」「ゲートキーパー養成講座」を実施。 「こころの体温計」はインターネットで誰でも利用可能。 「こころの相談会」は各相談会毎に事前申し込みして利用。 健康フェスタにおいて福祉系のコーナーを設置し、普及啓発グッズを配付する等、自殺予防を周知。 「いのちとこころを支える大鰐町自殺対策計画」を策定。(平成31年度(2019年度)から平成35年度(2023年度)の5か年計画)	398	・ゲートキーパー養成講座:地域住民を対象に講座を実施。参加者数42名 ・こころの相談会:司法書士、精神保健福祉士、保健師による総合的な相談会を3回実施。利用者は8名。 ・こころの体温計:インターネット上で、現在の心の状態を確認することが出来るシステムを運用。アクセス数は4,085件。 ・イベントや窓口におけるポケットティッシュ・自殺予防ステッカーの配布 ・健康フェスタの福祉系のコーナーにおいて自殺予防の普及啓発活動の実施。 ・大鰐町いのちとこころを支える自殺対策本部会議及び大鰐町自殺対策ネットワーク会議(大鰐町健康づくり推進協議会)を開催し、当町における自殺の現状及び計画の進捗状況について検討し、情報共有を図った。
			見守り活動推進事業	ほのぼの交流協力員や民生委員・児童委員をはじめとする住民と、新聞配達業者や宅配業者等の民間事業者の協力等により、さまざまな見守り活動を広範かつ重層的に実施し、見守りの強化を図ることにより、高齢者や障害者をはじめ、誰もが共に支え合い、住み慣れた地域の中で、安心して暮らせるような地域福祉社会を構築することを目的として実施。主にほのぼの交流協力員事業、見守り活動推進事業の2事業を実施。	295	ほのぼの交流協力員数:53人(28グループ) 住民のつどいの場実施の支援:11回(声がけ・周知・当日の参加等) 見守り活動推進事業として、見守り活動連絡会、見守り活動研修会、見守り活動に係る普及啓発等を実施。

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額(千円)	事業実績
	全・安心なふるさとづくり		福祉安心電話サービス事業	概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯並びにこれに準ずる世帯に属する高齢者を対象に緊急通報装置(福祉安心電話)を設置することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ること、また地域のつながりを維持することを目的として装置設置費及び維持費等の一部を助成	227	新規設置台数:3台 取り外し台数:3台 総設置台数:17台 機種更新台数:0台 利用状況:緊急7回、停電1回、相談1回、電源投入0回、電池切れ0回
			認知症施策推進事業	認知症機能低下予防事業、さわやかシニア教室、もの忘れ検診、成年後見制度普及啓発、健やか・見守りネットワーク模擬訓練、徘徊高齢者の早期発見・保護事業、認知症介護家族の集い、認知症カフェ、成年後見制度利用支援事業、認知症サポーター養成事業等を実施。また、認知症地域支援推進員の配置及び認知症初期集中支援チームを設置。	8,098	認知症サポーター養成事業:(4回開催、受講者90人)、認知症講演会:(1回開催、88人)、認知症ケアバスの普及、認知症機能低下予防事業(12回開催、参加者延べ149名)、さわやかシニア教室(45回開催、参加者延べ825名)、もの忘れ検診(1回開催、受診者42名)、健やか・見守りネットワーク模擬訓練(1回開催、参加者45名)、徘徊高齢者の早期発見・保護事業(見守りカード交付2名、3名登録)、認知症初期集中支援事業:チェックリスト配布件数777(回収率42.0%)、認知症介護家族の集い(2回開催、参加者延べ15名)、認知症カフェ(3回開催、参加者延べ39名)、成年後見制度講演会(1回開催、受講者44人)、成年後見制度普及啓発:相談件数8件、成年後見制度利用支援事業:町長申立1件、認知症。
		安全・安心な医療体制の整備	医療確保対策事業	広域における医療確保のための各種負担金等 医師確保対策事業負担金、弘前市二次救急輪番制病院運営事業負担金、休日在宅医療運営事業負担金、高度救命救急センター運営費補助金、弘前市急患診療所管理運営費負担金	5,771	県救急医療情報システム負担金:2千円 医師確保対策事業負担金:212千円 弘前市二次救急輪番制病院運営事業負担金:1,640千円 休日在宅医療運営事業負担金:128千円 高度救命救急センター運営費補助金:3,608千円 弘前市急患診療所管理運営費負担金:181千円
		安全・安心な防災対策	防災対策事業	防災対策の強化を実施する。	176,507	消防団員出動手当:3,276千円 消防用備品購入費:2,384千円 小型動力ポンプ付積載車購入費:24,590千円 防災行政無線施設デジタル化整備工事:144,529千円 非常用備蓄食料購入費:610千円 県防災ヘリコプター負担金:617千円 防災行政無線経費:277千円 防災情報システム経費:224千円
		公共交通の活性化	公共交通活性化事業	【デマンドバス運行事業支援補助金】 町内3路線(デマンドバス)の運行経費に助成。 【弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会負担金】 弘前市と大鰐町を結ぶ私鉄を今後も存続させていくための協議会に対する負担金。 【その他】 その他各公共交通を維持するための補助を実施。	32,163	デマンドバス運行支援補助金:28,738千円 弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会負担金:52千円 その他公共交通維持補助金:3,373千円
		ふるさと教育	青少年社会参加活動事業	ふるさと教育に対する支援。(OH!!鰐 元気隊キッズへの補助金) 〔大鰐温泉もやし〕増産と販路開拓を中核とした「大鰐ブランド」価値向上、産業振興事業の中で実施)	316 (再掲)	令和元年10月5日～6日 OH!!鰐 元気隊6年生による大鰐農産物等の首都圏販売体験、大鰐フェア(大鰐食材を活用した食事会)名刺交換会を実施。 参加者:児童名9名、キッズ隊OB2名、引率4名 実施主体:OH!!鰐 元気隊

基本 目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
			魅力発信事業	<p>首都圏・関西圏における観光PR人材育成研修事業として、催事「町イチ！村イチ！2019」(東京都)及び「なんばSKYO」(大阪府)に出展。 また、町の観光PRのため、鰐マスコット像の改修工事、大鰐温泉駅前おもてなし足湯看板製作設置、観光PRパネル製作を実施。</p>	3,954	<p>観光PR人材育成研修を、プロジェクトおおわに事業協同組合への委託により実施。 催事に出展し、町の魅力や特産品をPRした他、町若手職員の魅力発信スキルを習得させた。 また、駅前及び雨池スキー場にある鰐マスコット像の改修により、町のシンボルの魅力アップにつながった。 駅前にある足湯については看板を設置し、大鰐温泉郷の歴史をPRした。 その他、観光施設(鰐come)へ町のゆるキャラや観光名所が掲載された観光PRパネルを設置し、魅力発信と集客を図った。</p>

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
	ふるさと魅力アップ	ふるさと魅力アップ	スキー育成環境整備事業	大鰐町の小・中学生に対して大鰐温泉スキー場のリフト料金を無料とする。 【対象者】 大鰐町内の小・中学校に在学している児童・生徒及び大鰐町に住所を有し、町外の公立学校に就学している児童・生徒 【支援内容】 大鰐温泉スキー場のリフト1日券が無料 1シーズンの利用回数は5回まで	389	(延べ人数) 小学生 220人 253,000円 中学生 88人 136,400円 計 308人 389,400円
			ふるさと納税推進事業	ふるさと納税を推進していくため、ふるさと納税収納代行業務を「㈱さとふる」、「楽天㈱」への委託により実施。	8,500	インターネットのポータルサイトに掲載し受付している。R元年度のふるさと納税寄付額は、16,952千円。
			文化団体等育成支援事業	各種文化団体等へ補助。 文化協会補助金、三ツ目内獅子踊り保存会補助金、環境文化ボランティア協会補助金、大鰐居士登山囃子保存会補助金、俳句の町づくり実行推進委員会補助金、大鰐登山囃子保存会補助金、読書団体連絡協議会補助金、子ども会育成連合会補助金、連合婦人会補助金、PTA連合会補助金、青少年健全育成協議会補助金	1,196	文化協会補助金:162千円、三ツ目内獅子踊り保存会補助金:117千円、環境文化ボランティア協会補助金:63千円、大鰐居士登山囃子保存会補助金:36千円、俳句の町づくり実行推進委員会補助金:216千円、大鰐登山囃子保存会補助金:36千円、読書団体連絡協議会補助金:40千円、子ども会育成連合会補助金:65千円、連合婦人会補助金:332千円、PTA連合会補助金56千円、青少年健全育成協議会補助金:73千円

基本目標	施策	主な取組	事業名	事業概要	実績額 (千円)	事業実績
4 新しいひとの流れによる ”にぎわい”の創出	住みやすいわがまちづくり	住宅支援	空き家等対策事業	空き家等の適正管理、積極的な利活用、管理不全な空き家の抑制を図るために、空き家等対策計画に基づき、取組を実施。	5,148	・空き家等所有者特定業務 ・特定空家解体工事
			地域情報通信基盤整備事業	平成23年度より町全域に光ファイバの供用を開始している。光ファイバは町所有である。 町内であればどこでも光ファイバに接続できる。	7,772	光ファイバケーブルの保守管理を実施。 (光ファイバケーブル保守点検委託料、電柱添架料、光ケーブルの移設工事等)
		I・Uターン支援	移住促進事業	圏域等で主催する移住セミナーへ参加し、移住検討者に対して町のPRや相談受付を実施。	92	東京都で開催される「青森暮らしセミナー」及び「弘前圏域暮らしセミナー」に参加し、自治体ブースを出展。首都圏在住で、地方への移住を検討している相談者に対して、移住先での暮らし方や希望物件について聞き取りを実施した他、大鱒温泉等のPRを実施。
	にぎわいづくり	資源・人材を活かしたにぎわいづくり	公園整備・運営事業	あじやら公園、茶臼山公園、児童公園等を指定管理者に管理委託。	59,247	都市公園指定管理料、あじやら公園、茶臼山公園の施設等改修及び維持管理。
			各種イベント活性化事業	四季を通して町内において各イベント(万国ホラ吹き大会、大鱒温泉サマーフェスティバル、ちどりあしまつり、まるごと大鱒秋の感謝祭)が実施されるよう各実行委員会に助成。 イベントを実施しやすい環境の整備。	1,871	万国ホラ吹き大会:744千円、6月1日実施、参加者数 196人 サマーフェスティバル:680千円、7月29日～8月17日実施、参加者数 8,206人 ちどりあしまつり:197千円、9月20日実施、参加者数 316人 まるごと大鱒秋の感謝祭:250千円、11月23日～24日実施、参加者数 2,593人
		街なか商店街活性化支援	まちあるき推進事業	9市町村で連携し、中津軽地域のまち歩きを通して地域の魅力を発信。	125	まちなかコース、石の塔コースを実施。まち歩き参加者 15人(団体3件)
		スポーツ行事の活性化支援	生涯スポーツ推進事業	地域住民が気軽にニュースポーツをとおして、健康や仲間づくりの推進を趣旨とした「ニュースポーツフェスティバル」を虹貝多目的広場を会場に実施。	356	開催日は、令和元年10月19日(土)。 ニュースポーツフェスティバルで実施した種目は、グラウンドゴルフとペタンクの2種目の実施予定だったが雨天のため室内でポッチャを実施した。 参加人数は、51名となっている。

地方創生交付金に係る事業内容

1 事業承継推進事業

事業費	事業概要
33,937千円	<p>大鱒温泉もやし増産推進委員会（町、大鱒温泉もやし組合、プロジェクトおおわに）が平成30年度まで3年間実施した、大鱒温泉もやしの増産・安定供給の取組をきっかけに、農業や観光等他の分野にも担い手育成の取組を進め、地域産業の振興、地域特産品の伝承、事業承継、雇用や事業の創出を目指す事業。</p> <p>実施主体は、町、大鱒温泉もやし組合、プロジェクトおおわに、地域商社の4者が構成する大鱒温泉もやし増産推進委員会。</p>
【1】 大鱒温泉もやし増産・安定供給及び販路拡大事業	
12,729千円	<p>(1) 大鱒温泉もやしの安定供給に向けた生産力の向上及び販路拡大</p> <p>通年栽培や生産工程の効率化等により各農家の生産力の向上を図るとともに、未開拓である関西方面等への販路強化、新規取引店の発掘等への取組。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大鱒温泉もやし生産量 93,020束（27.9トン）対前年比129% ○大鱒温泉もやしに関する取材対応件数 20件 ○大鱒温泉もやし新規取引店 22軒 <p>(2) 地域商社の経営支援</p> <p>町の物産の販促活動を担う地域商社の事業計画の作成や事業執行に関わる助言、安定した収益源の確保等について、専門家による支援を行う。</p>
【2】 大鱒町シティプロモーションによる産業振興事業	
15,881千円	<p>(1) 宿泊施設や地域内事業者との連携による観光産業振興事業</p> <p>廃業危機となっている老舗商店や宿泊施設の新たな担い手を発掘、育成し、事業を承継する。その他、特産物を活用したメニューの開発やアクティビティの開発、実践。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業承継 <p>町内の宿泊施設、菓子店を営む事業者を訪問し、現在の状況や課題、将来についてヒアリング。第三者による事業承継の可能性がある事業者の担い手発掘、伝統菓子の製造技術の習得を目指す。</p> ○アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> ①9/8 青森フォトロゲイニング大会inおおわに2019 参加者 大人93人、小人21人 ②11/3 3on3 (バスケ) 参加者 小学生18人、中学生16人 ③11/23、24 まるごと大鱒秋の感謝祭 <p>(2) 情報発信と交流を通じた大鱒ファンの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大鱒ファンクラブの運営 <p>大鱒町を応援する県内外のファンを募り、有料会員として組織し、会員に対して地元特産物を送るほか、お中元・お歳暮に使ってもらえるような「大鱒セット」を開発・販売。令和元年度末時点の会員数47名。</p> ○情報発信 <p>インターネットユーザーに大鱒温泉もやしや町の魅力を効果的にPRするために、ウェブサイト及びフェイスブックにイベント情報や町の観光スポット等を掲載。</p>

【3】 大鰐町を持続可能にする地域経営人財育成事業	5,327千円
(1) 大鰐なりわい塾	
<p>町内の若手経営者に限らず、町外の大鰐に関心のある担い手候補者に対して、セミナーやフィールドワーク等を行い、これらの事業活動を通じて地域に貢献できる人の輩出を目指す。 計6回実施、85名参加</p> <p>①「故郷で起業する」 講師：菊池 暢晃氏（建築士/ドリームアーキテクト） 参加者数：12名</p> <p>②「食は地域のチカラ」 講師：田村 暢英氏（八戸商工会議所嘱託専門指導員） 参加者：6名</p> <p>③「目指せ！日本の田舎町再生のお手本づくり」 講師：相馬 康稷氏（プロジェクトおおわに事業協同組合） 参加者：14名</p> <p>④「本気の事業継承」 講師：立石 裕明氏（事業継承・事業再生コンサルタント） 参加者：27名</p> <p>⑤「故郷を元気にする」 講師：五十嵐 忠悦氏（元秋田県横手市長） 参加者：14名</p> <p>⑥「故郷を活かす！」 講師：後藤 欣司氏（モディ㈱代表取締役） 参加者：12名</p>	
(2) 元気隊キッズに対するふるさと教育	
<p>小学生から郷土愛を持ち、地域への誇りを養ってもらおうと、大鰐小学校の5～6年生が「元気隊キッズ」として活動している。令和元年10月に9名のキッズが、収穫した農作物を東京で販売体験をした。また夜には、飲食関連の代表、百貨店バイヤーら多くの第一線で活躍する人たちと名刺交換をした。</p> <p>日程：令和元年10月5日(土)～6日(日) 参加者数：キッズ9名、キッズOB 2名、引率者4名、計15名</p>	

2 地域クリエイターと連携した新たな担い手育成及びコンテンツ等開発事業

事業費	事業概要	
2,449千円	弘前市、田舎館村、佐賀県嬉野市と連携し、「人材育成」「ブランド・コンテンツ開発」「積極的な情報発信」という3つの柱に基づき事業を実施。連携自治体が一体となって新たな産業の創出とともに、既存の産業の底上げを行い、まちの持続した成長を目指す。	
1) 商品開発		
<p>平成29年度に連携市町村により開発したアップルティーに合う各自治体の特産物を使用したスイーツを開発。大鱈では「とまとのあたま」というレアチーズケーキを開発し、2月に開催された「冬のアートフェスタ」の各会場で販売（町では弘南鉄道大鱈駅と鱈come）。連携イベント以外での販売も検討。令和元年度は50個（@300円）販売。</p>		
2) 観光コンテンツ開発		
<p>①おおわにらんとんワークショップ おおわにらんとんワークショップを弘南鉄道中央弘前駅で開催。1/26、参加者40名。 ②おおわにらんとん夢列車 弘南鉄道を手作りらんとんで装飾し、らんとんの灯りのみで走る夢列車を2/1、2、8、9の4日間運行。乗車人数947名。 ③おおわにらんとんアート展示 連携事業を開催する各所にらんとんを設置。</p>		